

河井増雄君 春らしくなった陽気に心を打たれて。

山崎勲君 三種類のカゼにしっかり付き合いました。

村山誠一君 BOX協力。

加藤英男君 ボックスに協力して。

丸山誠一君 永塚校長先生ようこそ、／お話し楽しみにしております。

稲田憲治君 春が来た、女欲しさにこのさわぎ。我が家のネコの話です。

落合益夫君

米山忠俊君 皆さんのボックスへの協力に感謝して。

ロータリー財団：

本間建雄美君 長男高校卒業見込み。

卓 話： 「三条ミュージックキャンプ&選抜バンドコンサートについて」永塚光雄殿

ただいまは身に余るご紹介を頂きまして恐縮致しております。三条第三中学の飯塚光雄でございます。大変立派な方々がお集りの会で、しかも君が代斉唱の厳肅な中で開会された場に臨ませて頂きまして心が引き締まるようでした。またその後、大変なごやかな会が続まして聞き込まれておった訳でございます。そういう中で、またお見受けしますと私が若い頃、いたらない教師として教壇に立ったといつては言いすぎでございますが、共に勉強させて頂いた方、その後またPTAで大崎、あるいは三中等で大変お世話になった皆様方いらっしゃるしまして有難たい事だと思っております。何はともあれ学校教育全体につきまして、日頃お力添えを頂いております事につきましてこの席を借りまして大変恐縮でございますけれども厚く御礼申し上げます。そこで、今日は「三条ミュージックキャンプと選抜バンドコンサートについて」という題を頂いておりますが、私も大変その方面については正直言ひまして、うとうございますので、最初にまず今日は卓話ではなく御礼申し上げたいこう思っている訳でございます。今程も当校の前のPTAの会長をお務め下さいました丸山さんからご紹介ございましたように、市内にはご承知の通り7つの中学校がある訳でございますが、そのうち吹奏楽部をもっています学校は6校でございます。それらの学校が、それぞれ指導の教員を中心に致しまして子供達は頑張っておる訳でございますけれども、何と致しましても学校の立場で見ますと、それぞれの教員は頑張っておりますけれども、すべて吹奏楽部の分野について専門であるという訳でもございません。従ひまして、子供と共に練習を展開して行く中で行き当たる事が沢山ある訳でございます。私共もそれを見ていながら、できるならば中央方面から良い講師をお呼びして指導して頂くと子供も喜ぶし、先生も良いんだなと思う事がありまして残念な事にそれだけの経費を学校はとても捻出する訳には参りません。あきらめておったところにもございます。そしてまた、同じ市内で吹奏楽を共にやっておるんだから何かの機会に一同に会して共々同じ事に進んでいる仲間として親しく付き合うという事をやっていいのではないかとも思っておりましたけれども、これもまた、意にまかせないでいたった訳でございます。そういう時、たまたま有難い事でございますけれども、前年度末から今年度始めにかけまして北ロータリークラブ

の皆さんから吹奏楽を応援するがどうだという有難いお言葉を頂戴致しまして本当に嬉しい事でした。そこで私の中学・小学校長会長を致らぬ中で務めさせて頂いておりますが、中学の方では中学校教育研究会というのがございます。この会長を第一中学の石塚校長をお願いしている訳でございます。そこで第一中学の石塚校長と相談致しまして、是非これはお願い申し上げようではないかという事で、昨年この会をもたせて頂きまして中央公民館を借りましてそれぞれ各学校の子供達が集った訳でございます。専門外でございますので、詳しいことにつきましては申し上げる力をもっておりませんけれども、参加をした関係先生方、あるいは子供達に二、三聞いて回りますと、教員の方としましては何と言っても自分の力には出来ないその専門的分野の方々に何人か来て頂いてその面からの指導を頂いたと、これは大変嬉しい事であったと同時にそういう道に一生懸命進んでいる方々がその道を、その道というのは部活として一生懸命頑張っている子供達を扱う様子、これを背景にして吹奏楽の指導についてももちろんであるけれども、子供をどう導いて行ったら良いかと、子供が元気を出してやるにはどうしたら良いかというその基本を何か教えて頂いたような気がする。と、こういう教員もおりました。子供の方では何と言っても日頃、先生から教えてもらっているけれども中央の先生から来て頂いて習った事が大きな自信になった。こうも言っています。同時にまた、ある子は私達はただ学校だけでやっているんだと思ったら、市のそういう立派な方々が私達の練習を応援して下さっているのがわかって本当に嬉しかったと、これからも本気を出して頑張ります。という声を何名かの子供が言っております。私もその一員でございます。そういう意味で本当に有難い。いつか御礼を申し上げなければならないこう思っておりましたところ、過日丸山さんからこういう会があるんだが、お前一言御礼を申し上げたらどうかという言葉が頂戴致しまして大変貴重なお時間でございますけれどもお伺いさせて頂きまして御礼申し上げる訳でございます。更にまた、そこにございますように今年度5月11、12日と又市内の吹奏楽の子供を集めまして、大崎山あるいは中央公民館を借りまして、それぞれ各学校のパートの代表になりましょうか、そういう子供を集めて中央から松沢先生を中心とした講師陣をお呼び下さいまして、また指導して下さる機会を設けて頂き本当に有難い事でございます。是非、皆様のお心にお答えして行かなければならないと今も強く念じておる訳でございます。どうぞ一つ今後共、ご指導お願い申し上げます。そこでちょっと、離れるようで恐縮でございますが、専門的な内容はこの場合相田先生をお願いして、相田さんは私共の吹奏楽に対しまして大変、一生懸命応援して下さいます。有難い事でございます。現に市の吹奏楽に入っている子供達が先生是非入ったら来て下さい。更に腕を上げましたよ。とこういう子供もおりました。これまた有難い事でございます。そういう専門的な事については相田さんから話もあったこう思いますので、私はまた教員という立場からこの吹奏楽、その他についてちょっと考えてみたいこう思う訳です。これはまあ吹奏楽がもう意味あいにおいては、今私はあらためて申し上げるまでもございませんけれども、2つあると思っております。何と言いましても1つは吹奏楽がもっているそのものの意味でございます。子供達はこれを一生懸命勉強致しまして音楽が好きになっている。その事を通しま